

# 神戸大学での 大学生活

神戸大学 大学院工学研究科  
市民工学専攻 地圏環境工学研究室

# 神戸大学工学部を選んだ理由

- ・関西の大学である
- ・人々の生活を支えるような仕事に就きたい



オープンキャンパスに参加、市民工学科を知る。



大学構内の雰囲気  
大学施設の綺麗さ

# 大学4年間の過ごし方

## 1～3回生

### 1～2回生

基礎的な授業が中心  
(一般教養、英語、第二外国語、大学数学など)

### 2～3回生

専門的な授業が中心  
(演習、実験など)

空き時間に部活をしたり、運転免許の教習に行くこともできます。  
授業後はサークル・部活・アルバイトをする人もいます。

# 大学4年間の過ごし方

## 4回生以上

4回生前半 研究室に配属される  
院試勉強 or 就職活動

4回生後半～ 1人1つテーマを持ち、1年間(あるいは3年、6年)を通して研究する。

研究の忙しさは、研究室によります。  
語学の勉強や資格の勉強を、研究と並行して進める人もいます。

# 大学の授業について

- \* 前期・後期がそれぞれ2つに分かれて、**クォーター制**(4期制)となっています。
- \* **1コマ90分**、1限は8:50から始まります。  
4限終わり(16:40まで)の人が多いです。
- \* 夏休み : 8月中旬～9月末  
年末年始: 1週間ほど  
春休み : 2月中旬～3月末

・大学院に進学する人・・・**7～8割**ほど  
・学部卒で就職する人も少なくはない

# 大学生の生活

## ◇ほとんどの人がアルバイトをしている

塾講師や家庭教師、飲食のアルバイトをしている人が多いです。  
大学生協が紹介してくれるアルバイトもあります！  
アルバイトとサークル・部活の両立もできます。

## ◇8割以上がサークル・部活に所属している

複数のサークルや部活を掛け持ちする人もいます。  
他大学の人と一緒に活動する団体もあります。

## ◇放課後・長期休暇の利用の仕方

自動車の免許を取得したり、海外旅行に行く人が多いです。

# 研究室について

市民工学専攻 地圏環境工学研究室



阪神淡路大震災による斜面崩壊



ビデオゾンデによる気象観測



六甲山系周辺の  
土砂災害危険箇所

レーダーによる降雨観測の研究など、  
気象や土砂災害に関するシミュレーションを主に行っています。

\*他にも、地盤、海洋、橋、道路、地震…等々  
様々な分野についての研究室があります！

## Q&A

Q: 女子が少なくて不安...

A: 女子の人数が少ない分、絆が深まります。

また、最近では女子の人数も増えているので、

心配いらないと思います！（市民工学科の女子学生：約2割）

Q: 大学の授業は難しそうについていけるか不安...

A: 学科の学生数が少なく

学生と先生方の関係が密なので、

サポートが手厚く、質問もしやすいです！



# 最後に

学部学科選びは将来につながる重大な選択です。  
何に興味があるか、将来何をしたいのか、  
しっかり自分と向き合って考えてみてください。

そして目標に向かって勉強に取り組んでください。

まだまだ不安な状況が続きますが、体調に気を付けて  
高校生活を思いっきり楽しんでください！

来年の春、皆さんに会えるのを楽しみにしています！